

Japanese Research Society of
Clinical Anatomy

第16回 臨床解剖研究会

第30回 愛知大腸肛門疾患懇話会 共催

プログラム・抄録集



骨盤臓器解剖の全て

会期 2012年(平成24年) 9月8日(土)

会場 ウィンクあいち(愛知産業労働センター)



当番世話人

前田 耕太郎

藤田保健衛生大学医学部 下部消化管外科学

第16回臨床解剖研究会

ご 挨拶



第16回臨床解剖研究会

当番世話人 **前田 耕太郎**

藤田保健衛生大学 消化器外科

臨床解剖研究会会員の皆様におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、2012年(平成24年)9月8日(土)名古屋駅前にごぞいます WINC あいち(愛知県産業労働センター)において「第16回臨床解剖研究会」をお世話させていただく事になりました。1997年から開催されております臨床解剖研究会において初めての名古屋開催でもあり、大変光栄に存じます。

今回は、解剖学領域、婦人科領域、泌尿器科領域、外科領域から見た骨盤解剖をテーマに「骨盤臓器解剖の全て」についてのシンポジウムを設け、佐藤達夫先生、森谷宜皓先生のご司会のもとに、解剖学：佐藤健次先生、婦人科学：藤井信吾先生、泌尿器科学：池本慎一先生、外科学：絹笠祐介先生、長谷川傑先生にシンポジストをお願いいたしました。

また、「解剖から見た外科」についてのランチオンセミナーも予定し、解剖から見た上部消化管外科手術、肝胆膵外科手術について、金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科の太田哲生教授、当大学上部消化管外科学の宇山一朗教授にご講演をしていただきます。

本研究会が、大変有意義な討論の場になるのではと自負しております。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

9月の名古屋はまだまだ暑いと存じます。皆様どうぞクールビズでお越し下さい。

第16回臨床解剖研究会

概 要

当番世話人 前田 耕太郎 藤田保健衛生大学 下部消化管外科学 主任教授

実行委員長 小出 欣和 藤田保健衛生大学 下部消化管外科学 講師

当番事務局

藤田保健衛生大学 下部消化管外科学
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
Tel: 0562-93-9296 Fax: 0562-93-8311
E-mail: yonge@fujita-hu.ac.jp

会 期 2012年9月8日(土) 8:50~17:25

会 場 WINC あいち(愛知県産業労働センター)10階
名古屋市中村区名駅4-4-38
Tel: 052-571-6131 URL: <http://www.winc-aichi.jp>

参 加 費 5,000円

シンポジウム [骨盤臓器解剖の全て]

司会: 佐藤 達夫(東京有明医療大学 学長)
森谷 宜皓(日本赤十字社医療センター)

- S1** 内視鏡外科時代の直腸外科解剖 — 下部直腸肛門管周囲の剥離と側方郭清について
長谷川 傑(京都大学大学院医学研究科 消化管外科)
- S2** 外科医から見た直腸周囲の筋膜解剖と機能温存直腸癌手術のための剥離層
網笠 祐介(静岡県立静岡がんセンター 大腸外科)
- S3** 婦人科領域から見た骨盤臓器解剖
藤井 信吾(公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院)
- S4** 泌尿器科領域から見た骨盤解剖
池本 慎一(八尾市立病院)
- S5** 脈管系ならびに自律神経系を考慮した骨盤内筋膜の構成要素
佐藤 健次(東京医科歯科大学 名誉教授)

ランチョンセミナー [解剖から見た外科手術]

司会: 小平 進(練馬総合病院 外科)

- L1** 解剖から見た上部消化管外科手術
宇山 一朗(藤田保健衛生大学 上部消化管外科)
- L2** 解剖から見た肝胆膵外科手術
太田 哲生(金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科)

参加者へのご案内

1. 受付・参加登録

受付は研究会当日9月8日(土)の午前8:10より、WINC あいち10階1008号室にて行います。参加費は5,000円です。受付にて参加費をお支払いの上、引換えに参加証(領収書兼)をお受け取りになり、ご所属及びご氏名を記入の上着用してください。

2. プログラム・抄録集

プログラム・抄録集は会員の皆様には予めお送りしておりますが、ご購入を希望される方は一部1,000円にて受付で販売いたします。

3. ランチョンセミナー

会場にて昼食をお配りいたします。会場内でお召し上がりください。

座長・司会へのご案内

1. 座長・司会の先生は担当セッション開始30分前までに「受付」へお越しの上、ご到着の旨もお伝え下さい。

2. 開始10分前に会場前方の「次座長席」にてお待ちください。

3. 発表時間を厳守・徹底していただくようお願いいたします。

一般演題：1題10分(発表7分/質疑・討論3分)

シンポジウム：1題発表15分/質疑・討論45分

演者へのご案内

1. 発表時間

一般演題：1題10分(発表7分/質疑・討論3分)

シンポジウム：1題発表15分/質疑・討論45分

2. 受付

PC受付は参加受付会場内がございます。

発表の30分前には試写をお済ませください。(混雑する場合もございますので、十分時間の余裕をもって随時PC受付を行なって頂きますようご協力ください。)

PC受付での発表データの修正作業は準備進行の妨げとなりますのでご遠慮下さい。

PC受付 8:10～16:15

3. 発表形式

■発表データの受付

【メディアを持参される場合】

- ・発表データはWindowsのみとなり、CD-ROM、USBフラッシュメモリ等のメディアに記録してPC受付にお持ちください。(MacはPC持ち込みの場合のみ対応可能です)

- 使用アプリケーション：MS Power Point 2003,2007,2010
- 画面サイズ(解像度)：XGA(1,024×764)
- 使用するフォントについてはWindowsに標準で装備されているフォント(MS・MSP明朝、MS・MSPゴシック、Times New Roman、Century)を使用してください。
- データ内に動画及び特殊なアニメーションがある場合は不具合が生じることがございますので、ご自身のPCをご持参ください。また、データにて持ち込まれる場合、作成されたパソコンとは別のパソコンで再生されることをご確認ください。(推奨動画形式：wmv形式)*会場内への音声出力は不可能です。
- お預かりいたしましたデータは学会終了後、責任を持って消去いたします。

【PC本体を持ち込まれる場合】

- ACアダプターをお忘れなくご持参ください。
- D-Sub15ピンへの変換ケーブルが必要な場合には、必ずご持参ください。
- 万が一に備え、バックアップ用として各種メディア(USBメモリー、CD-R)にデータを保存し、ご持参ください。

■ 演台での操作方法

演台上には液晶モニター、キーボード、マウスが用意されております。

登壇と同時にスライドショーの1枚目まで表示させて投映いたしますので、その後の操作はご自身で行ってください。

「臨床解剖研究会記録」掲載用原稿執筆のお願い

本研究会では、発表演題の記録集「臨床解剖研究会記録」を作成しております。

A4変型判、1色刷、1論文組み上がり見開き2頁(英文抄録を含む)の予定です。

第16回臨床解剖研究会の演題発表者は執筆要項にしたがって締切日(2012年10月31日)までにご提出くださいますようお願い申し上げます。

各種会合日程

1. 幹事会

日時：2012年9月7日(金)17:00より

会場：WINC あいち(愛知県産業労働センター)10階1005号室
名古屋市中村区名駅4-4-38 Tel:052-571-6131

2. 世話人会

日時：2012年9月7日(金)18:00より

会場：WINC あいち(愛知県産業労働センター)10階1005号室
名古屋市中村区名駅4-4-38 Tel:052-571-6131

会場アクセス図

愛知県産業労働センター(ウィンクあいち)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL 052-571-6131 FAX 052-571-6132

当日 緊急連絡先：TEL 090-7045-2869（実行委員長 小出欣和携帯番号）



□ … ユニモール(地下街)出口 ○ … 地下鉄出口

■ 電車をご利用の場合

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅 (桜通口) より徒歩約2分

JR (東海道新幹線) をご利用の場合

◎東京……約97分 ◎新大阪…約51分

※地下道を利用される場合は、JR 桜通口側、高島屋、JR セントラルタワーズ前の◎(地下鉄東山線入口) から地下に入り、ユニモール5番もしくは7番より地上に上がりますと便利です。ただし、このルートでは、地下と地上の間には階段しかございません。

■ お車をご利用の場合

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分

駐車場…収容台数123台 (有料)

■ 飛行機をご利用の場合

中部国際空港 (セントレア) …約28分 (名鉄空港特急利用)

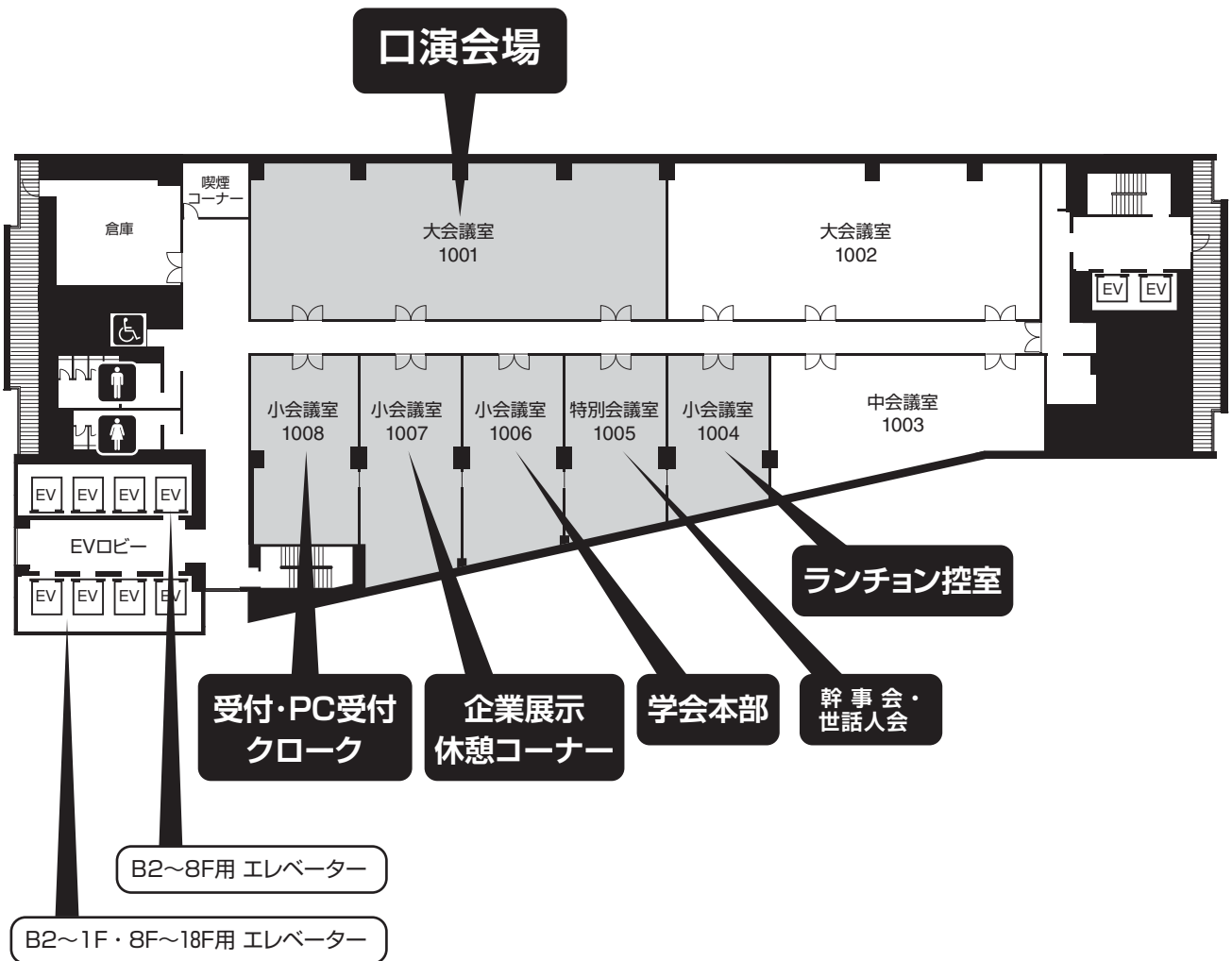
※名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。

また、時間帯により多少異なります。

会場案内図

10F

愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）



研究会スケジュール

時 間	セッション名等	座長・司会	演題番号
8:50~9:00	開会あいさつ		
9:00~9:50	セッション1 (脳・神経・筋肉)	島田 和幸 (鹿児島大学) 伊藤 正裕 (東京医科大学)	1~5
9:50~10:30	セッション2 (顔面・頸部)	光嶋 勲 (東京大学) 北村 清一郎 (徳島大学)	6~9
10:30~10:45	休 憩		
10:45~11:15	セッション3 (泌尿器)	大谷 修 (東京医科大学) 吉川 羊子 (小牧市民病院)	10~12
11:15~11:55	セッション4 (腹 部)	夏越 祥次 (鹿児島大学) 坂井 義治 (京都大学)	13~16
11:55~12:10	休 憩		
12:10~13:10	ランチョンセミナー 共催：大鵬薬品工業(株)	小平 進 (練馬総合病院)	L1~L2
13:10~13:30	休 憩		
13:30~15:30	シンポジウム 「骨盤臓器解剖の全て」	佐藤 達夫 (東京有明医療大学) 森谷 宜皓 (日本赤十字社医療センター)	S1~S5
15:30~15:45	休 憩		
15:45~16:15	セッション5 (その他)	寺本 龍生 (明敬会重城病院) 中野 隆 (愛知医科大学)	17~19
16:15~16:45	セッション6 (肝・胆)	衣袋 健司 (三井記念病院) 遠藤 格 (横浜市立大学)	20~22
16:45~17:15	セッション7 (肝 臓)	藤元 治朗 (兵庫医科大学病院) 長谷川 潔 (東京大学)	23~25
17:15~17:25	閉会あいさつ		

プログラム

開会あいさつ 8:50～9:00

セッション1 9:00～9:50

[脳・神経・筋肉]

座長：島田 和幸（鹿児島大学大学院 人体構造解剖学）
伊藤 正裕（東京医科大学 人体構造学）

- 01 後交通動脈の臨床解剖学的検討
松田 和郎 他 滋賀医科大学医学部 解剖学講座
- 02 脳脊髄液漏出症における腰仙髄領域からの髄液漏出機序とその実験的検証
—RI 脳槽シンチグラフィにおける髄液漏出像の本態について—
三浦 真弘 他 大分大学医学部 生体構造医学講座
- 03 Pencil point type ブロック針は神経根ブロックに有用か？
高橋 巖太郎 他 昭和大学医学部 第二解剖学教室
- 04 上腕筋は3頭筋である —肘関節屈曲拘縮への関与についての考察—
山本 昌樹 他 トライデントスポーツ医療看護専門学校 理学療法学科
- 05 腸骨稜近傍における上殿皮神経絞扼の解剖学的検討
國谷 洋 他 横浜市立大学 整形外科

セッション2 9:50～10:30

[顔面・頸部]

座長：光嶋 勲（東京大学医学部 形成外科学教室）
北村 清一郎（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 口腔顎顔面形態学）

- 06 立位と仰臥位における顔面構造物の形態変化に関する画像解剖学的検討
奥田 逸子 他 国際医療福祉大学三田病院 放射線診断センター
- 07 Le Fort Ⅲ型骨切り・骨延長術における重篤合併症の原因の検討
秋田 新介 他 千葉大学医学部 形成外科
- 08 歯科診療体位における下顎骨と顎顔面の脈管との位置関係に関する研究
—cadaver によるオトガイ下動脈の走行について—
三輪 容子 他 日本歯科大学 生命歯学解剖学第一講座
- 09 MDCT による肩甲下動脈系の分岐形態の検討
猪原 康司 他 災害医療センター 形成外科

休憩 10:30～10:45

セッション3 10:45～11:15

[泌尿器]

座長：大谷 修(東京医科大学 客員教授)
吉川 羊子(小牧市民病院 泌尿器科)

- 10 CT・MRIによる馬蹄腎狭部の腎実質の有無についての検討
松岡 勇二郎 他 東京都立墨東病院 診療放射線科
- 11 腎俞穴刺鍼の解剖学的検討
梅本 佳納榮 他 明治国際医療大学
- 12 骨枝・皮枝を含めた浅腸骨回旋動脈穿通枝皮弁を用いた陰茎・尿道形成
林 明辰 他 東京大学 形成外科

セッション4 11:15～11:55

[腹部]

座長：夏越 祥次(鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学)
坂井 義治(京都大学大学院医学研究科 消化管外科)

- 13 食道癌手術における3DCT angiography 及び3DMR ductography を用いた
気管支動脈と胸管の立体解剖
和田 剛幸 他 慶應義塾大学医学部 外科学教室
- 14 上腸間膜動脈周囲局所解剖から見る結腸癌郭清手技の再考
柄田 智也 他 金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科
- 15 後腹膜腔内へ進展した cotyledonoid leiomyoma の1例
加藤 友康 他 国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科
- 16 膜の功罪 一鼠径ヘルニア治療における腹膜外腔のとらえ方—
朝蔭 直樹 柏厚生総合病院 外科

休 憩 11:55～12:10

ランチョンセミナー 12:10～13:10

共催：大鵬薬品工業(株)

司会：小平 進(練馬総合病院 外科)

- L1 解剖から見た上部消化管外科手術
宇山 一朗 藤田保健衛生大学 上部消化管外科
- L2 解剖から見た肝胆膵外科手術
太田 哲生 金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科

休憩 13:10～13:30

シンポジウム 13:30～15:30

[骨盤臓器解剖の全て]

司会：佐藤 達夫（東京有明医療大学 学長）
森谷 宜皓（日本赤十字社医療センター）

- S1** 内視鏡外科時代の直腸外科解剖 — 下部直腸肛門管周囲の剥離と側方郭清について
長谷川 傑 他 京都大学大学院医学研究科 消化管外科
- S2** 外科医から見た直腸周囲の筋膜解剖と機能温存直腸癌手術のための剥離層
絹笠 祐介 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科
- S3** 婦人科領域から見た骨盤臓器解剖
藤井 信吾 公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院
- S4** 泌尿器科領域から見た骨盤解剖
池本 慎一 八尾市立病院
- S5** 脈管系ならびに自律神経系を考慮した骨盤内筋膜の構成要素
佐藤 健次 東京医科歯科大学 名誉教授

休憩 15:30～15:45

セッション5 15:45～16:15

[その他]

座長：寺本 龍生（明敬会重城病院 外科）
中野 隆（愛知医科大学医学部 解剖学）

- 17** 横隔神経による肩関連痛について
名和 史朗 他 愛知医科大学大学院 医学研究科
- 18** 両側乳癌・多臓器転移で死亡した1解剖体における腋窩リンパ節転移状況について
安部 美幸 他 大分大学医学部 医学部附属病院（臨床研修医）
- 19** 閉鎖神経ブロックの安全性に関わる血管系の走行様式 — 解剖学的検討 —
内野 哲哉 他 大分大学医学部 麻酔科学講座

セッション6 16:15～16:45

[肝・胆]

座長：衣袋 健司(三井記念病院 放射線科)
遠藤 格(横浜市立大学大学院 消化器・腫瘍外科学)

- 20** 先天性門脈欠損症に合併した肝腫瘍の切除経験
笠原 康平 他 横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学
- 21** 臨床解剖を重視した French technique による腹腔鏡下胆嚢摘出術
盛 真一郎 他 鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科
- 22** 発生学に基づいた胆嚢癌のリンパ節転移様式とその治療
中川原 寿俊 他 金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科

セッション7 16:45～17:15

[肝 臓]

座長：藤元 治朗(兵庫医科大学病院 肝胆膵外科学)
長谷川 潔(東京大学大学院 肝胆膵外科 人工臓器・移植外科学)

- 23** 肝臓の動脈供給における副肝動脈の意義 —比較解剖の立場から—
宮木 孝昌 東京医科大学人体構造学講座、愛知医科大学解剖学講座
- 24** 右肝円索を有する肝臓7例における脈管解剖
衣袋 健司 他 三井記念病院 放射線診断科
- 25** 肝前区域の門脈3次分枝・肝静脈分枝形態解析
栗本 亜美 他 兵庫医科大学病院 肝胆膵外科学

閉会あいさつ 17:15～17:25

第 16 回臨床解剖研究会

抄 録

内視鏡外科時代の直腸外科解剖 —下部直腸肛門管周囲の剥離と側方郭清について

京都大学大学院医学研究科 消化管外科

○長谷川 傑、河田 健二、山田 理大、大越 香江、加藤 滋、坂井 義治

近年内視鏡外科の手術手技の進歩ならびにエビデンスの蓄積に伴い、直腸癌領域に対してのその適応も広がりつつある。腹腔鏡の拡大視効果ならびに手術画像の保存／反芻が可能な点は、遺体解剖学や画像診断学の進歩とも相まって、従来は認識しにくかった下部直腸周囲の解剖についても新しい知見を提供し、手術手技の精度の向上に寄与しているものと考えられる。本研究会では、腹腔鏡下直腸癌手術に於ける最近の2つの話題、下部直腸肛門管周囲の剥離操作と側方郭清について議論したい。

直腸周囲の剥離 (TME) に関しては骨盤内自律神経系、側方靭帯、下腹神経前筋膜、直腸固有筋膜、Denonvilliers 筋膜などの外科解剖の知見が増え、内視鏡外科医にとってはほぼ共通の認識を持つことが可能になったと思われる。一方、下部直腸から肛門管周囲の解剖 (直腸尿道筋、会陰小体、直腸後方靭帯、内外括約筋間隙など) については、腹腔側からは鉗子操作も難しく、術中剥離に迷うことも多い。これらの構造物を実際の手術中の所見と MRI などの画像、実際の組織標本との対比をしながら提示したいと考える。

腹腔鏡による側方郭清も議論のある領域である。郭清という手術操作をある解剖学的ランドマークに区画された領域を切除するという意味で捉えたとしたときに、側方リンパ節郭清においては、内外腸骨血管並びに内腸骨血管の分枝、閉鎖筋膜、挙筋腱膜、膀胱前立腺外側の神経血管束、仙骨神経叢、Alcock 管、骨盤内自律神経などの解剖学的ランドマークを一つ一つ通過しながら郭清を行うことにより、側方領域のリンパ節を十分に郭清することができるのではないかと考える。実際の手技を供覧する。

外科医からみた直腸周囲の筋膜解剖と機能温存直腸癌手術のための剥離層

静岡県立静岡がんセンター 大腸外科

○絹笠 祐介

直腸癌手術においては、根治性を担保しつつ、肛門温存および泌尿生殖器機能温存をはかる手術手技が要求される。

直腸癌手術の際に温存すべき神経は、交感神経の下腹神経、副交感神経の骨盤内臓神経で、両者によって直腸外側で骨盤神経叢を形成する。下腹神経は、腹側に下腹神経前筋膜、背側に壁側骨盤筋膜と二枚の膜にはさまれながら、直腸間膜(直腸固有筋膜)の背側から側方向へ向かって骨盤内を下行する。前方では Denonvilliers 筋膜の外側が骨盤神経叢との境界を形成しており、神経線維は同筋膜に沿って走行している。機能温存の観点からは神経は膜に覆われた状態で温存する事が望ましく、そのメルクマールとなるものが、後方では下腹神経前筋膜であり前方では Denonvilliers 筋膜である。側方靱帯(直腸枝上群)において骨盤神経叢からこれら筋膜を貫く神経線維があり、剥離層が失われる手術のキーポイントとなる。腫瘍の位置や深さに応じて、「どの筋膜に沿った」剥離層を選択するかが重要である。

肛門管近傍の腫瘍に対する超低位前方切除術(vLAR)や内肛門括約筋切除(ISR)の際には、骨盤深部、肛門管周囲の解剖学的な理解が重要である。前方では男性の場合は直腸尿道筋が、女性では直腸腔間に平滑筋が存在し、剥離層の選択を困難にさせる。後方では肛門尾骨靱帯が連合縦走筋と尾骨周囲筋膜とを結び、肛門側の剥離層と腹腔内からの剥離層を交通させることにおいて重要な構造物となる。腫瘍の位置や深さに応じて、「筋肉内のどっちより」を分けていくかが重要である。

右肝円索を有する肝臓7例における脈管解剖

三井記念病院 放射線診断科

○衣袋 健司、竹口 隆也、福田 穂積、戸辺 公子、阿部 彰子

【目的】 右肝円索を有する7例を経験したので、造影CT画像から得た脈管解剖所見を報告し、右肝円索は右傍正中門脈枝(右葉前区域枝)の背腹分岐部に位置するという説を検証する。

【症例】 年齢は48歳から86歳で男性5名・女性2名である。このうち多脾症が3名(内蔵完全逆位が2名、腹部のみ逆位が1名)。いずれも造影CTが行われている。以下、左右の混乱を避けるために内臓逆位例についてはいずれも左右反転させた状態での記載とする。

- (1) 門脈分岐形式：通常型2例、前区域・左枝共通幹1例、その他4例(PV3先行分岐1例、PV2とPV3+4別分岐など)。
 - (2) PV3とPV4がはっきりと分離している例：2例、PV4であろうと推察できる例：4例、不明1例。
 - (3) 中肝静脈主幹は肝円索の左側に位置している(全例)。
 - (4) AFV(anterior fissure vein)と考えられる静脈の存在：全例(中肝静脈の近位部から右側に分岐)。
 - (5) 動脈：右葉前区域枝が右肝円索で左右に2分すると考えられる例：5例、前区域腹側枝が左右に2分すると考えられる例：1例。不明1例。
 - (6) 胆嚢の位置：右肝円索の尾側：3例、肝円索の左側：4例。
- 以上は右肝円索は右傍正中門脈枝の背腹分岐部に位置するという説を支持すると考えられる。
- (7) 右前区域門脈枝の背側・腹側の境界に右肝円索が存在するとして、前区域背側に比して腹側はその体積が全例で小さいと考えられた。
 - (8) 左葉内側区域(S4)も外側区域に比べて明らかに小さい。(全例)
 - (9) 本院CTにおいて内臓逆位(腹部のみ逆位2例)が見られた13例(多脾症6例)のうち右肝円索は5例(多脾症5例)で認められた。(造影CTが撮影されていない2例は上記の検討からは除外している)すなわち多脾症は右肝円索の高リスクグループと考えられる。

肝前区域の門脈3次分枝・肝静脈分枝形態解析

兵庫医科大学病院 肝胆膵外科学

- 栗本 亜美、近藤 祐一、飯室 勇二、山中 潤一、黒田 暢一、平野 公通、岡田 敏弘、麻野 泰包、鈴木 和夫、中村 育夫、田中 省吾、斐 正寛、小坂 久、宇多 優吾、末岡 英明、矢田 章人、大橋 浩一郎、岡本 共弘、藤元 治朗

【目的】 肝前区域は、門脈分岐形態・肝静脈走行の variation が多く、肝細胞癌に対する系統的肝切除術の実施にはその解剖の詳細な把握が必須である。今回、術前3Dシミュレーションによる形態的解析を行ったので報告する。

【対象・方法】 2007年6月～2011年6月に施行した肝癌切除症例250例。日立 OVA を用いてMDCTより3D統合画像を作成し、門脈3次分枝の灌流領域および肝静脈ドレナージ領域を解析した。さらに術前3Dシミュレーションによる施行術式の検討を行った。

【結果】

①門脈分岐形態：門脈3次分枝は頭側尾側型：CC型(CouinaudによるS5・S8の垂区域分類)90例(36%)、腹側背側型：VD型(HjortsjoおよびRyuらによる)75例(30%)、箒型(門脈3次分枝が同時に3本以上分岐)85例(34%)であり、従来のCouinaudのS5S8垂区域は約1/3のみに認められた。

②静脈形態：V8が中肝静脈のみに流入は9.3%、右肝静脈に流入するのは16.9%、中・右肝静脈いずれにも流入するのは69.4%であった。またV5が中肝静脈のみに流入は36.9%、右肝静脈のみに流入するのは23.0%、中・右肝静脈いずれにも流入するのは38.5%であった。さらに前区域の背側領域枝には右肝静脈を超えて背側に進展する乗り越え症例が存在し、38.7%に乗り越え枝を認めた。また、250例中、腹側領域切除は10例、背側領域切除は6例に施行した。

【まとめ】 CouinaudによるS5・S8の垂区域分類より逸脱する症例は64%にも達し、肝予備能を考慮した合理的手術の施行には腹側背側領域の概念の導入が有用と考えられた。また、3D切除シミュレーションから個々の解剖学的特徴に準じた虚血領域の予測と術式検討が可能となり、安全確実な手術の遂行に寄与するものと考えられた。

臨床解剖研究会

会 則

臨床解剖研究会会則

第1条(名称)

本会は臨床解剖研究会 (Japanese Research Society of Clinical Anatomy : JRSCA) と称する。

第2条(目的)

本研究会は人体の構造と機能を解剖学的に研究し、その成果を臨床に応用することによって外科療法の開発と発展、各種診断法の精度向上に寄与することを目的とする。

第3条(事業)

本研究会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究集会の開催
2. 記録の発行および関連資料の収集、提供
3. その他、本研究会の目的を達成するために必要な事業

第4条(会員、入会、退会)

1. 本会の目的に賛同し、定められた会費を納める施設(施設会員)を会員とする。
2. 入会を希望するものはその旨を会長に届け出ることとし、世話人会の承認を得て、会員として登録される。
3. 退会を希望するものはその旨を会長に届け出ることとし、届け出の日をもって会員の資格を失う。
4. 年会費を連続して2年納入しない場合は、特別な理由がない限り、最終納入年度をもって退会したものとみなす。
5. 本研究会には個人会員をおくことができる。

第5条(賛助会員)

1. 本会の事業を後援する個人または団体で、世話人会の承認を得たものは、賛助会員となることができる。
2. 賛助会員は、本会の主催する学術集会、学術講演会における研究発表、学術講演に参加することができる。

第6条(役員)

1. 本研究会に次の役員をおく。

会長	1名
幹事	若干名
監事	2名
世話人	若干名
2. 会長は世話人会において選出され、会務を統括する。
3. 幹事は会長が指名し、会長を補佐する。
4. 監事は世話人会の議を経て会長から委嘱され、会務および会計を監査する。
5. 世話人は会員たる施設の代表者の内より会長が委嘱する。
6. 役員の内任期は2年とし、再任を妨げない。

第7条(顧問、名誉会員)

1. 本研究会に顧問をおくことができる。
2. 本研究会に特に貢献した人の中から名誉会員を推挙することができる。
3. 顧問および名誉会員は会長が推薦し、世話人会の承認を得るものとする。

第8条(世話人会)

1. 世話人会は会長、幹事、監事および世話人をもって構成し、会務に関する事項の決定を行う。
2. 世話人会は会長が召集し、会長が議長を務める。
3. 世話人会は、委任状を含めて、構成員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数を要する。
4. 世話人会は年1回以上開催する。

第9条(研究集会)

1. 研究集会は毎年1回、当番世話人が開催する。
2. 当番世話人は世話人会において選出される。
3. 当番世話人の任期は、研究集会終了より次回研究集会終了までとする。

第10条(会計)

1. 本研究会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終了する。
2. 本研究会の経費は会費および寄付金をもってこれに当てる。
3. 本研究会の決算は監事による監査および世話人会の議決をもって承認される。
4. 承認された本研究会の決算は、会長の名において会員に報告しなければならない。

第11条(会費)

本研究会の会費は以下のとおりとする。

施設会員	12,000円
個人会員	3,000円
賛助会員	1口 30,000円 1口以上

第12条(会則の変更)

本会則の変更は世話人会において、委任状を含めて3分の2以上の賛成を必要とする。

第13条(事務局)

事務局は東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科機能解剖学^{*}内におく。

第14条(会則の施行)

本会則は平成10年7月4日をもって施行する。
平成14年7月19日一部改正。
平成15年9月19日一部改正。

^{*}現 臨床解剖学

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

ご協賛いただいた病院・企業一覧

(順不同)

- 【病 院】 医療法人 野垣会 野垣病院
医療法人 なるみ会 第一なるみ病院
畑川クリニック
医療法人 安形医院
医療法人 石川内科
犬飼胃腸科
医療法人 北辰会 蒲郡厚生館病院
医療法人 喜光会 北里クリニック
せんだクリニック
たきざわ胃腸科外科
医療法人 田中会 西尾病院
もみやま医院
医療法人 六輪会 六輪病院
医療法人 瑞心会 渡辺病院
医療法人 豊隆会 ちくさ病院
- 特定医療法人社団 松愛会 松田病院
医療法人 三恵会 服部病院
あおやま胃腸内科外科
医療法人 秋田病院
医療法人 愛明会 いしはらクリニック
医療法人 玲聖会 奥村クリニック
医療法人 雅修会 蒲郡深志病院
新川中央病院
医療法人 宝美会 総合青山病院
医療法人 明和会 辻村外科病院
医療法人 深谷会 富士病院
医療法人 山和会 山口病院
まつもとクリニック
医療法人 大医会 日進おりど病院
医療法人 社団 以心会 中野胃腸病院

- 【企 業】 大鵬薬品工業株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
中外製薬株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
ユフ精器株式会社
株式会社大塚製薬工場
武田薬品工業株式会社
株式会社ヤクルト本社
アステラス製薬株式会社
小野薬品工業株式会社
メルクセローノ株式会社
株式会社ツムラ
アルケア株式会社
科研製薬株式会社
塩野義製薬株式会社
ノバルティスファーマ株式会社
マルホ株式会社
ミヤリサン製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社

ご協賛ご協力を頂きました各位に御礼申し上げます。

第16回臨床解剖研究会
プログラム・抄録集

当番世話人：前田耕太郎

実行委員長：小出 欣和

当番事務局：藤田保健衛生大学 下部消化管外科学
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
Tel：0562-93-9296 Fax：0562-93-8311
E-mail：yonge@fujita-hu.ac.jp

出版： 株式会社セカンド
株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025